

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で (ヨシエル)」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇 119 : 7、エペソ人 6 : 5 「真心から」、マタイ 13 : 44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

→ ⑥ 究極的に立証される神のすべての言葉
真理は人生の諸問題の解決策

1 サタンと悪霊どもの実在と策略

★ハロウィ (一) ン

悪魔に仮装した子どもたちがキャンディーをもらうため、隣近所を “Trick or treat”
 (「いたずら、それとも、お菓子?」) と言って、歩き回るお祭り行事

★多くの人たち、サタンが実在の生き物であること、また、

ハロウィーンの類の異端の祭りの背後に存在していることに気づいていない

★サタンが何か架空の生き物、自分とは全く縁のない存在であると思っている人たちは多い

★多くの人たち、サタンが人々に関わるチャンスをいつも狙っているとはほとんど信じていない

☆あなたはサタンと悪霊が実在であると信じますか

キリスト、サタンと悪霊の実在を多くの話の中で語られた

マタイ 12 : 25-28

1. キリスト、「ベルゼブル」と、名を挙げてサタンを認識された

2. サタンの国が存在することを認められた

サタンの国とは、「この世」

★キリスト、サタンとその手下どもと戦われた

★キリスト、人々から汚れた霊を追い出された

☆間違った概念

1. サタンと悪霊はキリストが地上におられたときだけ活動していた

2. キリストが十字架上で勝利されたので、それ以降、彼らの活動はもはやない

☆聖書の見解

キリストが十字架上で勝利され、サタンを武装解除させたことは真理…

↑しかし、キリストが再臨されるまでは、サタンは完全には拘束されず、滅ぼされない

↑敵の動向をいつも見張り、神の武具で備える必要

→エペソ人 6 : 11-12

ペテロ第一 5 : 8

★獅子は、捕食者

★悪魔は、心の定まらないキリスト者や未信者を探し求め、攻撃しようと、地の周りを徘徊

サタン

★神と同等な力や特徴を備えてはいない

★創造された生き物「被造物」、墮落した御使い

★遍在ではなく、働きは局所的

★有限、悪霊を送って邪悪な働きをさせる

★「悪霊どものかしら」 (マルコ 3 : 22)

聖書

悪霊ども

- * 邪悪で、汚れた単純な霊ども
- * 人々を神と神の真理から引き離そうとする
- * サタンの代理人、サタンと一緒に働く
- * サタンと悪霊、今日暗躍、活動している

サタンの策略、攻撃法

【1】 惑わし

☆エデンの園

アダムとエバはだまされて、禁断の木の実を食べた →創世記3章

- サタンは「だましや」の長

人々を説得して、真理ではない何かを信じるようにさせる

☆サタンとその軍団、人々を神から引き離し、間違った方向へ導こう、偽りを信じるように説得しようと、待ち構えている

- 私たちの心（魂）に、間違った思いを植えつけることはサタンの常套手段じょうとう

聖書からの例

例証①

歴代誌第一21：1

- ダビデ、神が指示されなかったのにイスラエルの人口調査を行った
その結果七万人が死んだ
- なぜ、ダビデは人口調査を行ったのか？
どこからその考えを得たのか？
サタン！

例証②

マタイ16：22-23

- キリストが弟子たちに、ご自分の死と甦りを明らかにされたとき、
ペテロ、キリストをいさめた
- だれがペテロに、神のご計画を妨害する思いを入れたのか？
サタン！
- キリスト、神の御旨に逆らう思いをペテロに入れたサタンに向かって、
「下がれ。サタン」と叱責された

例証③

使徒の働き5：3

- 夫婦ともにキリスト信徒であったアナニヤとサツピラ、
使徒に与えるために自分の所有物の土地を売った
- お金の一部を自分たちのために残しながら、全額を献金したかのようにささげ、
その結果は、二人とも即座の死であった
- 二人を御霊にうそをつく行為へと導いた考えはどこから来たのか？
サタン！

☆サタンが人に向けて放つさまざまな思いと、聖書的答え

1. 教会員はみな、偽善者、教会に行く必要はない

- キリスト者とは、自らの罪を認め、キリストによる救いを受け入れた「罪人」のこと
- 神は罪人の共同体をご自分の群れとして最初から認められ、各自が信仰生活を経て、「キリストに似た者」たちの集まりになることを望んでおられる
- 教会はそのような者たちの群れ
- 群れが交わりを持ち続けることは神の御旨

聖書

2. 洗礼を受ける必要はない

- 確かに、洗礼は救われるための手段ではない
キリストの証人として御言葉を語り伝え、神の国を広げるために要求される儀式
洗礼は、キリストによる救いが自分に起こったことを外的に表明するもの
- キリストご自身、洗礼の範例を示された
→マタイ3:15
- キリスト、洗礼を受ける必要があるかどうかではなく、
父の御旨に従うことの大切さを強調された！

3. 不倫など不道德行為をしても大丈夫、だれにも見つけられやしない

- この世の目、法律、目撃者等の外的評価を恐れ、すべての行動基準とする不道德的な考え
- キリスト、
人の言動をすべて見通しておられる全知全能の神を恐れるようにと、教えられた
→マタイ10:28-30

4. サタンは私たちの憤りに拍車をかけ、復讐心を起こさせる

- 復讐は神のなさること
- 憤りを翌日に持ち越してはならない

5. あなたの心にあるすべての悪い思いを見るがよい、 あなたのような者を神は救われぬ、信仰をあきらめよ

- キリストが達成してくださった「贖い」の重さを正しく理解する必要
- 人は自分自身の力によっても、周りの人々の助けによっても、神に献身することによっても、内在する罪から解放されることはできない
- 罪人が救われる唯一の手段は、神ご自身が恩寵によって備えてくださった手段、
「私たちの罪を購うためのキリストの死と甦り」を信じ、受け入れること

6. 若者たちにサタンは、「ほかのだれもがやっているのではないか」と、悪行をそそのかし、 「神はあなたが何をしようと、あなたが幸せで、楽しむことを望んでおられる…」と、 偽りの思いを植えつける

- ソロモンの箴言、若者が陥りやすい誘惑の恐ろしさを繰り返し、警告

☆サタンと悪霊の及ぼす影響力を過小評価してはならない

☆サタンは私たちの魂をつけ狙っている

【2】誘惑

☆サタンは、だれをも餌食にする

すべての男女、子どもを追いかける

サタン、神の御子キリストにさえ挑戦した →マタイ4:1-11

☆通常、人が誘惑されるのは、とても楽しく、私たちの肉と心の欲を満たす何か、しかし、
神の御旨に反する何か

☆サタンと悪霊、私たち、三元（霊、魂、身体）構成の個々人の弱点を知って、
三領域から誘惑

私たちの弱みにつけ込むサタン

- *サタン、私たちの霊、魂、肉の欲望、願望につけ入り、誘惑する
- *私たちがつまずき、転ぶことを望んで、毎日誘惑する
- *ポルノグラフィ、禁止されているビデオ、また、
酒、タバコ、麻薬、ギャンブル、ゴシップほかを通して執拗に
- *親たち、サタンが子どもたちをつけ狙っていることを認識する必要
- *サタンの攻撃から安全な者はだれもない

聖書

☆嘘と盗みにとりつかれていた幼い息子の例証

- * 幼い息子の盗癖、嘘つき（虚言癖）を知らされた親が息子に問いただしたとき、息子は「サタンが、そうしなければ殺すぞと言った」と答えた
- * 親は、自分の行為をサタンのせいにしたことで息子を懲らしめず、まず、抱きしめた
- * 次に、息子に嘘を植えつけている敵サタンに対決し、息子の生命を救うことを試みた

☆サタンは、幼い子どもたちをも、このように^{とりこ}虜にする

- * 子どもの悪い行いに対して叱責する前に、親は、子どもの答えを分析して、背後にサタンが関わっているかどうか、知る必要
- * 子どもも、行った行為に対し責任があるが、親が常日頃から、サタンが子どもの人生を支配することがないように、確認することは極めて大切

サタンに巻き込まれるきっかけを与えるもの

☆重金属ロック音楽、ロックコンサートへ行かせることは、サタンの教会に子どもを送るも同然
☆親たち、悪魔の実体に開眼する必要

- * 悪魔的な音楽のテープを家から一掃、決してロックコンサートに行かせてはならない
- * 子どもたちに、ウイジャボード、タロットカードのようなオカルト的な玩具を与えない
- * オカルト映画や、異端的祭典に行かせてはならない

覚え

☆サタンと悪霊は実在！

サタンと悪霊、個々の教会の中でも働いている

→黙示録2-4章

☆サタンは、だましやで誘惑者

☆サタンと悪霊、

御言葉に精通し、キリストの名の力を知っているキリスト者を支配し、負かすことはできない
しかし、悩まし、苦しめることはできる
それゆえ、油断してはならない！

☆今、敵との戦いの最中にいる人はともに祈ること、祈りが大きな力になることを覚えてほしい

☆私たちは大なり小なり、霊の戦いのさ中にいる

サタンの巧妙な誘惑の方法を探る

☆サタン、弁証法（弁論で説き伏せて納得させる方法）を用いて、

最初の人類アダムとエバを誘惑し、罪に陥らせることに成功

☆それ以降、サタンはキリスト者を、神の御旨に一致しない誘惑的なビジョンに妥協、迎合する
ようにと、同じ手法を用いて攻撃

創世記3：1-13

: 1 「…食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか」（下線付加）：

☆この質問、「批判的な思考法」を描写

☆この方法、紛れもない真理にあらぬ疑いを持ち上げ、
現在の信条に挑戦、信仰に疑問を投げかけることで始まる

: 2-3 ☆エバ、すでにやや混乱気味

☆エバの、真理に基づいた確信の揺れ動き

: 4-5 ☆サタン、

神への反逆を前提に、偽りの約束、一信じることができそうな半真理—を提供

☆悪を経験する道の選択の結果は「善と悪の両方を知ることになる」開眼、
サタンのゆがんだ視点からは報酬であった

: 6-8 ☆神の訪れで、アダムは恥を感じたが、純粋な罪悪感ではなかった

☆アダム、もはや神の正しい視点から罪を見ることができなかった

: 9-13 ☆神、即、裁きを宣告するのではなく、行動の申し開きをするチャンスを与えられた

☆しかし、アダムもエバも悔い改めず、犯した罪を合理化し、他人のせいにした